



ウィズコロナ時代の 災害ボランティア



瞬く間に世界中に流行した新型コロナウイルス感染症は、私たち一人ひとりの健康や社会・経済活動など日常生活に深刻な影響を与え、既存の社会システムを危機的な状況に追いやる世界的規模の「災害」だと言えます。

また、令和2年7月3日から九州各地や長野県、岐阜県はじめ国内各地で記録的な大雨が降り、大規模な河川の氾濫や土砂災害、浸水被害が各所で発生しています。

そういった複合災害の状況下、被災地の災害ボランティアセンターの運営にも大きな影響が及んでいます。

被災して、生活のすべてを失ってしまった方々には、支え合いの力が必要です。これまでの災害では、一日も早い生活再建のため、全国各地から災害ボランティアが集まり、復旧・復興に協力していました。災害ボランティア活動は、個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されている現在の状況の中、災害ボランティア活動を進め

ることで、感染を広げてしまう恐れがあり、今回の被災地域は、人口に占める高齢者の割合も高く、感染の広がりが被災地の住民の命を脅かす事態を生むかもしれません。被災地では、新型コロナウイルス感染拡大リスクを回避するため、被災県内のボランティアグループ・NPO団体等による復旧・復興の支援活動が行われています。

こうした経験から京都市でも、普段から「気づき・つながり・支え合える」住民同士の支え合いの力が必要です。

被災地へ出向かなくても できるボランティア活動

赤い羽根共同募金では、被災者を支援する活動を支える支援金・被災された方々のための義援金など様々な形で災害・被災地支援活動を実施しています。



京都市災害ボランティアセンター

(運営:京都市、きょうとNPOセンター、京都市社会福祉協議会)
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノロ上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL:075-354-8728

FAX:075-354-8727

✉ office@ksvc.jp



社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 令和2年度版 10月発行

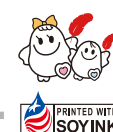
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノロ上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736

https://www.syakyo-kyoto.net/ E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp



この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。



SYAKYO-KYOTO

令和2年度版

京都市の社会福祉協議会

新しい生活様式で もつとつながる絆

menu.1

新しい生活様式のもとでの
それぞれの地域活動

menu.2

災害に備えた、地域のつながり